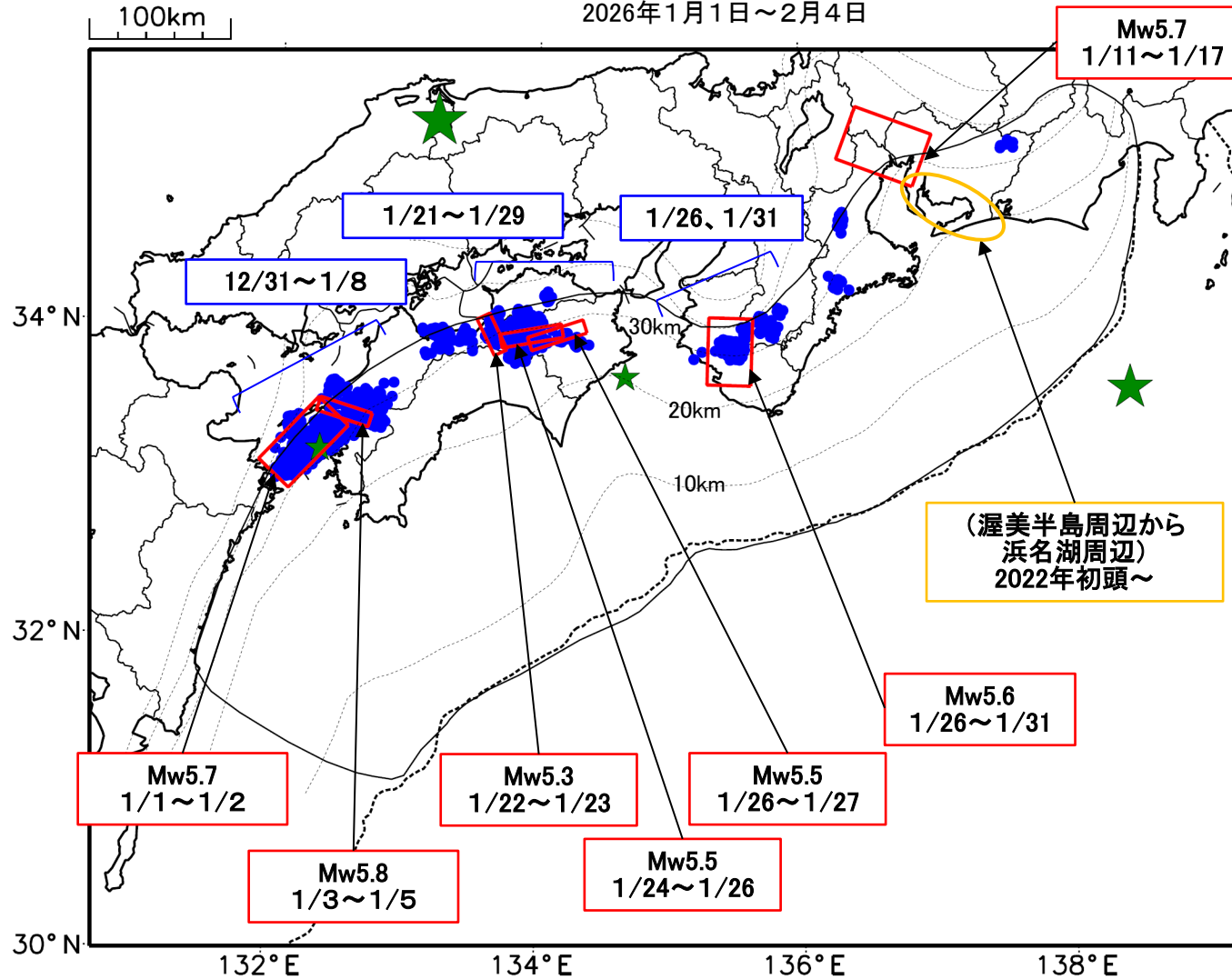


# 最近の南海トラフ周辺の地殻活動

2026年1月1日～2月4日



- 緑(★)  
通常の地震(最大震度3以上もしくはM3.5以上の地震、大きさはMの大きさを示す)
- 青(●)  
深部低周波地震(微動)
- 赤(□)  
短期的ゆっくりすべり
- 黄(○)  
長期的ゆっくりすべり

※地図中の点線は、Baba et al.(2002)、Hirose et al.(2008)、Nakajima and Hasegawa(2007)によるフィリピン海プレート上面の深さを示す。

※深部低周波地震(微動)及び短期的ゆっくりすべりは、2025年12月30日以降のものを示す。

通常の地震(最大震度3以上もしくはM3.5以上).....気象庁の解析結果による。

深部低周波地震(微動).....(震源データ)気象庁の解析結果による。(活動期間)気象庁及び防災科学技術研究所の解析結果による。

短期的ゆっくりすべり.....【東海】気象庁の解析結果を示す。

【紀伊半島中部から紀伊半島西部、四国西部、四国東部】産業技術総合研究所の解析結果を示す。

長期的ゆっくりすべり.....国土地理院の解析結果を元におおよその場所を表示している。

# 令和8年1月1日～令和8年2月4日の主な地震活動

## ○南海トラフ巨大地震の想定震源域およびその周辺の地震活動：

### 【最大震度3以上を観測した地震もしくはM3.5以上の地震及びその他の主な地震】

月/日	時:分	震央地名	深さ (km)	M	最大 震度	発生場所
1/2	07:49	紀伊水道	39	3.9	2	フィリピン海プレート内部
1/6	10:18	島根県東部	11	6.4	5強	地殻内
1/20	01:30	東海道南方沖	-	4.4	1	フィリピン海プレート内
2/3	00:11	豊後水道	39	3.6	2	フィリピン海プレート内部

※震源の深さは、精度がやや劣るものは表記していない。

※太平洋プレートの沈み込みに伴う震源が深い地震は除く。

## ○深部低周波地震（微動）活動期間

四国	紀伊半島	東海
<b>■四国東部</b> 1月3日 1月5日 1月16日 1月20日 <u>1月22日～29日</u> <sup>注1)</sup> . . . (2)	<b>■紀伊半島北部</b> 1月9日～10日 1月20日～21日 2月4日～（継続中）  <b>■紀伊半島中部</b> 1月4日 1月8日 <u>1月26日、1月31日</u> . . . (3)	1月6日 1月27日
<b>■四国中部</b> 1月6日～8日 1月22日～25日 1月31日～2月2日	<b>■紀伊半島西部</b> 12月31日～1月1日 1月20日～21日 <u>1月26日</u> . . . (3)	
<b>■四国西部</b> <u>12月31日～1月8日</u> <sup>注2)</sup> . . . (1) 1月10日～12日 1月16日～18日 1月22日～23日 1月26日～27日 2月3日		

※深部低周波地震（微動）活動は、気象庁一元化震源を用い、地域ごとの一連の活動（継続日数2日以上または活動日数1日の場合で複数個検知したもの）について、活動した場所ごとに記載している。

※ひずみ変化と同期して観測された深部低周波地震（微動）活動を赤字で示す。

※上の表中（1）～（3）を付した活動は、今期間、主な深部低周波地震（微動）活動として取り上げたもの。

注1） 防災科学技術研究所による解析では、1月21日から28日頃にかけて微動活動が見られた。

注2） 防災科学技術研究所による解析では、1月1日から7日頃にかけて微動活動が見られた。

気象庁作成